

P021R077

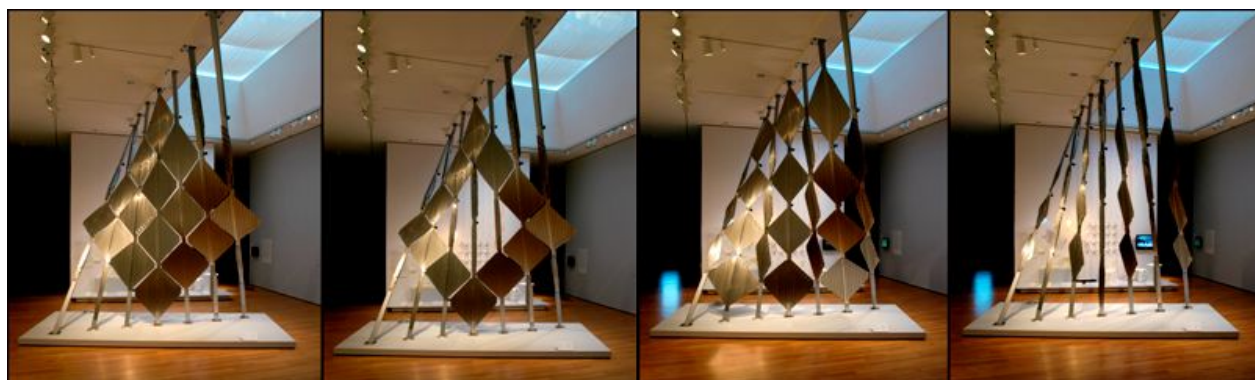
2009年12月25日

サイズや形が自由自在に変化するアート

「Living Form -生きている形- チャック・ホバーマン」展を1月23日（土）から開催

ポーラ ミュージアムアネックス（中央区銀座1丁目）では、2010年1月23日（土）から2月21日（日）までの会期で「Living Form -生きている形- チャック・ホバーマン」展を開催いたします。本展では、ポーラ銀座ビルのファサード（建物正面）に設置された180枚の可動式のキネティック・パネルを担当したアメリカ人デザイナーのチャック・ホバーマン氏の作品を東京で初めてご紹介いたします。

ホバーマン氏の作品はサイズや形が自由自在に変化することが最大の魅力です。今回は、1990年から現在までの、デザイナーあるいは発明家としての彼の『変形』に関する考え方を反映した作品を展示します。



Emergent Surface

New York, USA 2008 Design and the Elastic Mind Exhibition at The Museum of Modern Art

私のデザインの媒体は『変化そのもの』である。私は単純な動きが真の『変形』となる瞬間に焦点を合わせる。エレガンスと有機組織は良いデザインの優れた価値であり続けている。

私にとって、エレガントなメカニズムは単純な押し・引きを豊かで複雑な行為に移し変える。おもちゃから建築的な表面まで、私の全てのプロジェクトにおいて、手堅いデザイン原理を革新的な工学的解決法に統合している。

建築の領域では、設定された環境の柔軟性（フレキシビリティ）を高めることによってエネルギー保存問題を解決するための進歩的な考え方を探求することができる。

チャック・ホバーマン

【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ポーラ・オルビスホールディングス グループ広報室 TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】

TEL 03-3563-5501

| 展覧会概要 |

展覧会名	「Living Form - 生きている形 - チャック・ホバーマン」展
作品点数	5点
会期	2010年1月23日(土) - 2月21日(日) 会期中無休
会場	ポーラ ミュージアム アネックス 〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階
アクセス	東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分 東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ JR 有楽町駅 京橋口改札口徒歩5分
主催	株式会社ポーラ・オルビスホールディングス
開館時間	11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)
入場料	無料

| 作家略歴 |

CHUCK HOBERMAN (チャック・ホバーマン)



1956年米国マサチューセッツ州生まれ。コロンビア大学で機械工学の修士号を取得。90年にホバーマン・アソシエーツ、95年にホバーマン・デザインを設立し、現在に至る。「トランスフォーマビリティ(可変性)」をキーコンセプトに、玩具から建造物まで幅広い分野のデザイナー。02年冬季ソルトレイクシティ五輪をはじめ、ロックバンド「U2」コンサート会場での構造物などグローバルに活躍している。ポーラ銀座ビルは、ホバーマン氏が日本ではじめてデザインを手がけたビルとなり話題となった。



Expanding Video Screen
U2 360 World Tour 2009



ポーラ銀座ビル ファサード
2009